



Pro Rider's EYE Vol. 11

中井 直道

二輪レーサー&スクールインストラクターの安全通信

「速度差」を意識していますか？②

今回は、前回お話しした「速度差」について、歴史に触れながら考えてみたいと思います。

欧米では国と国とを人々が移動したり広大な土地で荷物を運んだりするために交通が発達してきました。

たとえば、古くから一般の交通機関として馬車が使われていたヨーロッパでは18世紀後半には主要都市間を往来する長距離馬車による交通網が整備されました。

また、一度に大量の荷物を運搬できる馬車はアメリカの西部開拓にも活躍しました。このように、移動時間を短縮するために速い速度が必要とされ、交通が発達してきたのです。

その頃の日本はどうでしょう？18世紀後半の江戸時代は、まだ人が駕籠を担いでいた時代です。また、人々の移動も関所等で規制されていました。このような背景から、日本と欧米とは道路交通の歴史や文化、そして人々の考え方に違いがあると考えられます。

とくに日本人は、速度についての認識



高速道路では大きな速度差を作らないような運転を心掛ける必要がある。

が低過ぎると思うのです。高速道路で、追越し車線をいつまでも走っていたり（違反です）、景色が良いといった理由で停車したり、また思わぬトラブル（パンクやガス欠）で止まった時も車の周りやうろろしたりと…。

こんなことでは、事故が発生しても仕方がありません。高速道路での事故は、大きな被害と悲しみをもたらすことを理解していかないのです。

また、高速道路では二次的な事故の被害が大きいことも認識しなければいけません。事故やトラブルが発生した場合には、まず安全な場所に避難し、自分の身を守るのが先決です。

さらに、状況を後続の車に知らせることが必要です。そのために私の車には、

発煙筒を3〜4本と多めに積み、勿論バイクにも携帯しています。

私の考えとしては、速度を出すこと自体が悪いとは思いません。効率良く移動するために車やバイクに乗るのですから一定の速い速度は必要なのです。ドライバーやライダーの速度に対する認識や判断(速度を出して良いとき、駄目なとき)と安全意識が重要なのです。

高速道路の料金安くなり、多くの人に利用されるようになったのはとてもよいことだと思います。しかし、一般道と違って高速道路を走行するときには、一定の速い速度を出すということ、さらに「速度差」がもたらす危険について考えて頂きたいです。

私たち日本人は、欧米に負けないくらいの安全意識の高い交通社会と文化をつくっていく必要があると思います。なんといっても私たちは、世界一の車(バイク)と高速道路を持っているのですから



【なかい なおみち】

’87年にロードレース国際A級へ昇格しプロロードレーサーとなる。その後、全日本選手権に参戦。鈴鹿8時間耐久ロードレースでは19回の決勝進出を果たす。現在は一般ライダー対象のライディングスクールを運営するなど多方面でバイクの楽しさと安全なライディングを伝えている。